

☆ 子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第1号

マイ スカイ

1996年4月16日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発 行 者

板野中学校

学 習 会

編集・文責:吉成士

こ ち ま ももいろ かお
東風に舞う/うす桃色の/花びらと/同じ香りの/子らと出会う

2, 3年生のみなさんにはほぼ一カ月ぶりのごおさたとなりました。1年生のみなさんとは「はじめまして」ですね。今年度も昨年度同様、私、吉成正士がMY SKYを担当し、発行していくことになりました。よろしくお願いします。

さて、初めて見ていただく人のために、少しMY SKYについて説明をしておきたいと思います。MY SKYとは、同和教育関係の学校行事についての記録に、私自身の思いや体験などを重ねて記していくものです。ですから、もしかすると私個人の考えが強く出てくる部分もあるかもしれません。そのときに「おかしいぞ」と感じれば、どんどん意見してください。そうしていきながら、みんなでMY SKYをつくっていきたいと思います。ただし、今年度からは昨年度の反省にたち、「2週間に1回の発行でたくさんのページ」を、「1週間に1回の発行で1枚」を目 標に綴っていくことにします。

なおMY SKYは、生徒のみなさんだけでなく、保護者のみなさんにも読んでいただきたいと思います。ですから、生徒のみなさんが読んだ後は、必ずお家の方に手渡してください。よろしくお願いします。それでは、今年一年の始まりです!



こんねん と こ かい がくしゅうかい わたし
◎今年度の子ども会(学習会)は、私たちがつとめます!

まずは、今年度子ども会(学習会)を担当するみなさん一人ずつから、いろんなお話をいただくことにしましょう! まずは新しく来られた、お二人の文章を読んでみてください。



わたし ちゅうがくじだい
私の中学時代

学習会専任指導員 坂東千恵子

はじめまして。学習会専任指導員として、本校に勤務することとなりました、坂東千恵子です。皆さん、早く顔と名前を覚えてくださいね。

私は市場町から通っています。板野町から車で40分程の所^{ほど}にあつて、すごくのどかな町です。

市場町にも同和地区があり、学習会^{おこな}を行っていることを、中学生であつた当時^{とうじ}の私は知っていました。でも、何^{もくてき}の目的で、何^{りゆう}の理由で行^{おこな}っているのか疑問に思つた私は、先生に尋ねようと思つたりしましたが、その話題には触^ふれてはいけないような雰囲気^{ふんいき}が漂^{ただよ}い、尋ねる勇気がなかつた私は、そのうち無関心^{むかんしん}になり、学校のアナウンスで『今日の学習会^{たすね}は、〇時から〇〇集会所であります』と流れるのですが、気にも留めなくなりました。

そうこうしているうちに中学3年生になり、大人に一步步近づいている私に好きな人ができて、その男の子と交際^{こうさい}するようになりました。その男の子は同和地区出身の子でした。スポーツマンで、とても優しい性格の子で、女の子だけでなく、男の子の中でも人気がありました。交際するといつても、学校では恥^はずかしくて会話^{かいわ}もしない、目も合わすこともできない、ただ、部活が終わって家に帰り、その男の子の家に電話をかけて、今日あつた出来事を話したり、どこの高校に進学するか等^{など}、今の私からは想像^{そうそう}もできない、可愛らしい交際^{こうさい}でした。

そんなある日、私とその男の子が交際していることを知つた担任の先生は、私の家に来て、両親に交際していることを言いました。『今は、進学のことだけ考えさせるように』という表向き^{おもてむ}はそういう理由で、その男の子と交際をやめるように言われました。私は両親の横で先生が言っているのを聞いて、不信感^{ふしんかん}を抱きましたが、何も言い返すことのできない私は、涙がこぼれるのを我慢^{がまん}して、ただ黙^{だま}つて聞いているだけでした。その後も、その男の子と交際を続けましたが、高校が違つたので結局^{けっきよく}、それ以後会えなくなりました。

交際していたとき一度だけ、その男の子が学習会で通^{かよ}っていた集会所を案内してくれました。記憶^{きこ}は定かではありませんが、そこには習字、絵などが貼^はつていて『ここで勉強しよる』と言っていました。今思うと、それは勇気のある行動だつたと思います。

私は中学、高校と同和教育を受けた記憶がありません。受けていたかもしれませんが、心に残るような授業を受けていないのだと思います。去年の夏、山川町で開かれた『同和問題意見発表会』を見に行き、部落差別^{じゅうたい}の実態をほんの一部だとは思いますが知りました。同じ人間なのにどうして？ すごく衝撃^{しょうげき}的で、腹立たしいものを感じました。学習会専任指導員^{しんどう}となつたこの機会^{きかい}に、同和問題について深く考えていこうと思います。生徒の皆さんの方が、私より同和問題についての意見、知識をたくさん持っているかもしれません。いや、持っていると思います。他の先生方や生徒の皆さんと共に、意見を出し合い、そして

かいけつ 解決に向けて立ち上がることのできる教育者として、人間として、せいちよう 成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



自分自身の解放を目指して

学習会専任指導員 柿原 寿人

3年前スキー場でコックとして働いていたころ、あるともだちから手紙が来ました。

「世間が空気すうように部落差別すうんやったら、ぜったい たたこ 絶対に闘うたろう。知識で教えても足もとすくわれたら終わりや、ムラの子といっしょに闘うていかれへん。世間が空気すうように反差別すうて、私は世間のきたない空気とたたかう。」彼女は学専として、ある小学校に勤務^{きんむ}していて、学習会の取り組みについて書いてきました。心に残ると言ってこの言葉を手紙の最後にそえていたのですが、そのときのぼくは「寝た子をおこすな」思想^{ししやう}を信じきっていて、学習会の存在^{そんざい}に疑問をなげるような手紙を彼女に返しました。「なんでみんな差別なんかするんやろうか。」そこでぼくの思考は止まっていたのです。

それから1年と少したったころ、ぼくは大阪の大学で言語^{げんご}の研究をしていて、大学の先生になろうといっしょうけんめいがんばっていました。ほとんど部屋にこもりっきりだったけれど、夜間^{やかん}高校の先生をしているともだちが大阪にいたので、ときどき会っているような話をしました。彼はぼくをいろいろな所に連れていきました。労働者^{ろうどうしや}の人々が集まる釜ヶ崎^{かまがさき}、在日韓国・朝鮮^{ざいにちかんこく ちょうせんじん}の人々の活気あふれる鶴崎^{かつさき}、今も昔の面影^{おもかげ}が残る遊郭^{ゆうかく}。異文化^{いぶんか}にふれたような驚き^{おどろ}と、それぞれの景色^{けしき}の裏にある様々なことを思いめぐらし、重たい気持ちで家に帰ると、テレビ・新聞によるオウム関係またはいじめによる自殺者^{ほうどう}の報道。少し社会に目を向けてみたら、いろいろな所で人が人として生きていくことができない現実がごろごろしていました。ぼくは日々言語^{ひび}の研究を続けながらも、「この国はどうなっているんだ？これからどうなるんだ？」と、人が生きていく上での権利^{けんり}と他者^{たしや}との関わり^{かか}について少しずつ考えるようになりました。そして日本で人権を考えると、部落問題はさけて通れないと気づき、いくつかの関連する本をひもといたのです。自分が抱いていた差別意識に初めて気づくまで、それからそう時間はかかりませんでした。

「自分の子どもが被差別部落出身の人と結婚すると言うとき、ぼくはゆるしてあげられるだろうか？必ず苦勞^{くろう}する。必ず苦しむ。それでも自分の子どもが選んだ人じゃないか。でも……」このような「自分の利益^{りえき}のために差別していると気づかず差別する」ことが差別^{おんしやう}の温床であり、その考え方にそまっていた自分も差別の実践者^{じっせんしや}だったことを知ったとき

の衝^{しょうげき}撃は今でも忘れられません。

そしてこの春、板野中学校にやって来ました。みなさん、これから学専としてお世話になります柿原寿人です。生徒のみなさん、保護者のみなさん、はじめまして！1970年6月3日生まれ、双子^{ふたご}座、男、趣味^{しゅみ}は音楽鑑^{かん}賞^{しょう}、ギター、ハーモニカ、料理（得意料理はキムチ鍋^{なべ}）、スポーツは卓球、サッカー、野球、スキーなどなど。夢は、部落差別に限らずあらゆる不当^{ふとう}な差別の完全消滅^{かんぜんしょうめつ}です。それとともに毎日のぼくを動かすエネルギーは、自分自身を解放したいというもう一つの目標です。その事を考えるだけでもウキウキします。ワクワクします。今年はみなさんからいろんなことを吸^{きゅうしゅう}取^とって「人権^{ぶと}太り」したいと思っています。なにとぞ、よろしくおねがいします！

★ ★ ★ ★ ★

自分を語ることの大切^{ひさ}さを久しぶりに感じました。自分の学級を持っていた頃^{ころ}は、毎日のようにしていたことですが、今の立場になりなかなかそれもできなくなりました。わずかにできる機^き会^{かい}の一つが、このMY SKYです。

私は、差別意識のない人間なんていないと思っています。つまりは、差別をしない人なんていないと思っています。みんなどこかで差別をしているんだと思うんです。問題はむしろそこからだと思うんです。諦^{あきら}めて何もしないのか？私はそんなのはイヤです。差別をする自分はイヤだから差別を、自分の差別意識を、少なくしようと思います。けど、なくなるとは思っていません。なくなったとするならば、それは死んだ時かなと思います。つまり、死ぬまでこの問題に関わって生きていってやろうと思っています。「無駄^{むだ}なコトして、バツカじゃない！」と言う人がいるかもしれませんが、別に気にもなりません。それに、クソッと思って肩^{かた}に力を入れることもしません。マイペース、マイペース。だって、自分のことなだから。自分をより良い自分にしていこうとしていくことなだから！

実は今、子ども会(学習会)に対して、すごく危機感^{ききかん}を抱^{いだ}いています。ピンチだと感じています。子ども会(学習会)参加者^{さんかしゃ}が、何か道^{みち}を見失^{みうしな}っているような気がするんです。自分のことだと捉^{とら}えられずに、肩に力だけが入って、つぶされているような気がするんです。このままだと、子ども会(学習会)が壊滅^{かいめつ}状態^{じょうたい}になってしまうように思えるんです。

つい先月^{せんげつ}、4年前受け持っていた学級の子たちと同窓会をしました。その中で、中学時代も部落問題学習にがんばり、高校に入っても部落研でがんばり続けた地区外の女の子が、今の現^{げん}状^{じょう}を春の嵐^{あらし}のような文面^{ぶんめん}で5枚の便せん^{びん}に書いてきました。それは、地区出身の彼とのつき合いを親に反対^{くわう}され苦悩^{くわう}し、やりきれない気持ちがいっぱい詰^つまった手紙でし

5月1日(水) 子ども会(学習会)郡頭教育集会所開講式

2日(木) 子ども会(学習会)川端教育集会所開講式

★

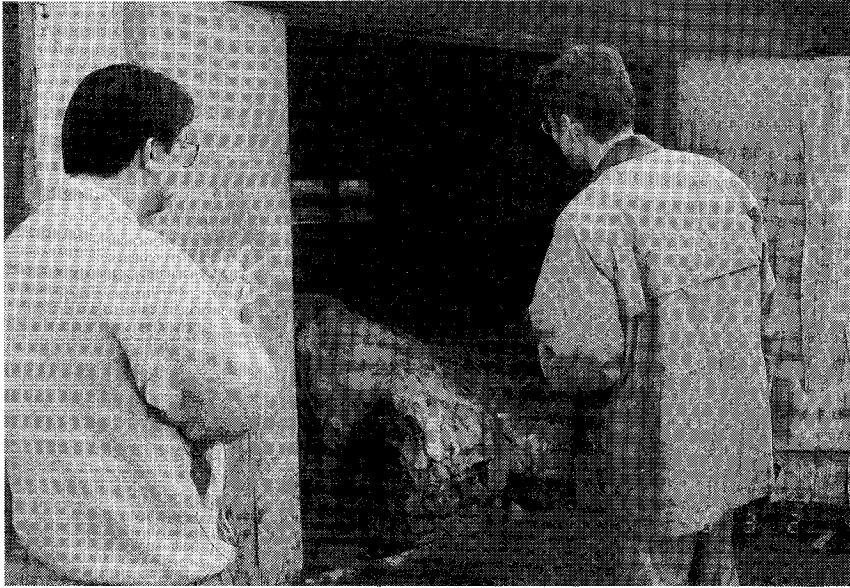
★

★

★

★

※ 「MY SKY」に関する感想や意見を広く求めています。取り上げてほしいことや
日頃疑問に思っていることなど、何でも結構です。ぜひとも吉成までお便りください！



京都福知山にて



八ツ塚実・和田武広両氏とともに